

令和5年度

定時社員総会資料

開催日程：令和4年6月27日13時30分から

会 場：山口県セミナーパーク

一般社団法人 山口県宅老所・グループホーム協会

〒759-6611 山口県下関市安岡本町1-11-12

TEL: 090-8998-8977

FAX: 083-258-1828

URL: <http://www.yamaguchi-ghr.com/>

E-mail: info@yamaguchi-ghr.com

総会次第

総会次第 P 2

上程議案

議案第 1 号 令和 4 年度事業報告及び決算報告承認の件 P 4 ~

議案第 2 号 令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算書（案）承認の件 . . . P 1 7 ~

報告事項

山口県宅老所・グループホーム協会賛助会員年会費の改正について P 2 1
会員名簿（R5. 6. 27 現在） 別添 1

上 程 議 案

議案第1号 令和4年度事業報告及び決算報告承認の件

【提案理由】

定款第16条の定めにより、

「令和4年度事業報告書」、「財産目録」、「貸借対照表」、「損益計算書（正味財産増減計算書）」を作成したので、御承認願いたい。

議案第2号 令和5年度事業計画（案）及び収支予算書（案）承認の件

【提案理由】

定款第16条の定めにより、

「令和5年度事業計画(案)」「収支予算(案)」を作成したので、御承認願いたい。

議案第1号 令和4年度事業報告、決算報告について

【提案理由】 令和4年度事業報告、決算報告について承認を頂きたい。

◇事業報告について

令和4年度事業報告

1. 組織体制・基盤強化・情報収集に関する事業

(1) 組織の基盤強化と新規会員加入促進

会員内訳 (R5.4.1時点)

会員項目	事業所数
正会員	101事業所
個人会員	12名
賛助会員	該当なし
名誉会員	該当なし

理事会、監査

日程	会場	参加役員
令和4年 4月27日(理事会)	オンライン	8名
令和4年 5月17日(監査)	山口県セミナーパーク	5名
令和4年 5月30日(理事会)	オンライン	11名
令和4年 6月28日(理事会)	オンライン	8名
令和5年 9月27日(理事会)	オンライン	10名
令和5年 2月21日(理事会)	オンライン	10名
令和5年 3月29日(理事会)	オンライン	7名

令和4年度定時社員総会の開催 (R3.6.28)

開催方法：オンラインにて

例年であれば会員参加の上、集合にて開催を行っていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため委任状を中心に集め、当日参加役員に関しても最小限の参加での開催とした。

(2) 研修事業の安定的運営

【認知症介護実践研修関連】

- ・認知症介護基礎研修

令和4年度認知症介護基礎研修 (e-ラーニング) 修了者：89名

【一般研修会】

- ・運営推進会議を活用した外部評価の運用と評価の視点研修会 (山口会場・下松会場)

(3) 情報の収集・共有・発信の活性化

あらゆる活動が制限される中で会員への情報提供や交流の機会の確保のため、FAX メールでの情報提供やオンラインでの交流会、研修等を開催した。

- ・オンライン交流会 (8月、11月の2回開催)

2. 認知症グループホームに関する研修、人材育成、相談事業

- (1) 研修部による認知症介護実践研修の開催
認知症介護基礎研修（R3、R4と継続研修）
- (2) 地域部会でのブロック活動の活性化
 - ・コロナ禍でのブロック学習会ではあるが各地域ともにオンラインと集合を計画的に行うことができた。（別頁：地域部会活動報告書参照）
 - ・アンケートを用いて会員からの要望、相談、意見の把握に努め、今後のブロック活動や本体活動の計画への取入れを行った。
 - ・ブロック活動の計画、報告について、ホームページ、FaceBook上でも情報提供を行った。
- (3) 地域密着型サービス外部評価制度において運営推進会議を用いた外部評価制度の導入に伴い、運用と視点に関する研修を行った。
- (4) 会員事業所からの相談受け入れ。

3. 広報啓発事業

- (1) 広報部における広報誌の発刊（2回）
- (2) ホームページ、FaceBookにより、研修案内・報告等掲載
- (3) ホームページの改変作業

4. 福祉サービスの質の向上並びにその評価に関する事業

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染対策等における調査の実施を行った。
(ホームページに掲載済み)
- (2) 要望書の提出に向けた集約と整理を行った。意見集約し、令和4年度提出を行う。
(要望書としてホームページに掲載予定)
- (3) 会員事業所の第3者相談窓口設置に関するワーキングを行った。令和4年度より会員事業所に対して告知を行っていく。

5. 関係団体との連携に関する事業

- (1) 各種団体活動における後援
- (2) 各種団体活動における会議
(山口県介護労働懇談会・山口県人材確保対策協議会・老人福祉施設研修作業部会・山口県介護保険関係団体連絡協議会・山口県福祉サービス第三者評価事業推進委員会、介護職員医療的ケア研修実施委員会、各市町の認知症活動等の委員派遣等)

6. 高齢者福祉に関する提言及び陳情に関する事業



岩国・柳井・光・下松・周南 ブロック

活動報告

開催日時	令和4年7月13日(水) 13時30分～15時30分
会場	ZOOM を使用してのオンライン学習会
研修名	グループホームの各種会議、各種委員会、マニュアルについて
目的	時間的に内容を絞り運営推進会議で外部評価をするまでの流れ、取り組み方法、身体拘束、虐待、各種委員会の研修方法、進め方、マニュアルからの説明等、本会理事事業所による取り組みの実践発表。
参加者	12事業所（うち、会員14名、非会員0名）

なかなか参加者が集まりにくい状況が続いていましたが環境整備に加え、テーマも関心を持たれたようで、計12事業所の参加がありました。質疑応答、意見交換の際は、たくさんの方から率直な疑問や話題があり活発な話し合いができました。又、研修後アンケートからは、参考にしたい書式があり欲しかった、他事業所の取り組みが聞けてよかった、また、コロナ禍での面会はどうしているか他の事業所の対応が聞けてよかった、



移動なしで研修が受けることができ助かった等のコメントをいただきました。

報告者	中西恭子（白鳩老人グループホーム）
-----	-------------------

開催日時	令和4年9月14日(水) 13時30分～15時30分
会場	ZOOM を使用してのオンライン学習会
研修名	苦情相談の状況、解決方法について
目的	各事業所において、どのような苦情や相談があり、どのように解決したのかを共有、そして意見交換をすることで、苦情、相談に対して、スムーズに解決するための知識を身につける。また、何かあったときに支え合えるよう事業所同士の横の繋がりを強化することも併せて目的とする。
コロナウイルス感染拡大のため開催中止	
報告者	中西恭子（白鳩老人グループホーム）

開催日時	令和4年11月9日(水) 13時30分～15時30分
会場	ZOOM を使用してのオンライン学習会
研修名	事例検討会（困難事例等）
目的	事例を通して、他事業所ではどのように対応するのか、あるいは、どのように対応してきたのかを話し合い、各々の知識、スキルを高めること、また、事業所同士の横の繋がりを強化することを目的とする。
コロナウイルス感染拡大のため開催中止	
報告者	中西恭子（白鳩老人グループホーム）

開催日時	令和5年3月15日(水) 13時30分～15時30分
会場	ZOOM を使用してのオンライン学習会
研修名	事業所の年間研修計画の在り方について
目的	コロナ禍における事業所の研修に対しての工夫、現在の状況等を話し合い、外部内部問わず、研修に関しての悩み、希望、予定など意見交換し、各々の事業所でより良い研修計画が立てられることを目的とする。
担当者	中西恭子（白鳩老人グループホーム）
参加者	6事業所（うち、会員8名、非会員0名）



防府・山口 ブロック

活動報告

開催日時	令和4年11月24日(木) 13時30分～15時30分
会場	ZOOM を使用してのオンライン学習会
研修名	グループホームはるひ苑での実践報告
目的	認知症になっても当たり前で生きるをサポートするはるひ苑代表岡屋淳氏の実践報告。その方の今まで培ってきたスキルを生かし、働く場、活躍できる場を提供し、笑顔を蘇らせる。NHK でも取り上げられたグループホームはるひ苑での実践報告を学び、各々の事業所で何ができるかを考え、現場に活かすことを目的とする。
参加者	12事業所（うち、会員14名、非会員0名）
<p>コロナ禍でもあり欠席者も予想されたが、申し込み者のほぼ全員が参加で県内全域から幅広く参加を頂くことが出来、有意義な学習会だった。岡屋氏によるはるひ苑の実践報告は写真や動画などを交え大変わかりやすく、グループホームの在り方を振り返るきっかけになった。後半のグループワークでは、感想や自施設の取り組み、悩みなどを参加者が自由に発言し、活発に意見交換を行うことが出来、とても良い刺激になった。</p> <p>※8月の予定であったが、コロナウイルス感染拡大のため11月開催となる。また、防府・山口ブロック、宇部・山陽小野田ブロック合同の学習会となる。</p>	
報告者	植木美智子（グループホーム湯田あいおい苑）

開催日時	令和4年11月 日程未定
会場	ZOOM を使用してのオンライン学習会
研修名	ハラスメントについて
目的	パワハラ、モラハラ、カスハラ、セクハラ等、ハラスメントに関することを学び、対応、対策ができるようになることを目的とする。
<p>8月に開催予定であった学習会が、コロナウイルス感染拡大のため中止。8月の学習会を11月に開催とし、「ハラスメントについて」の学習会は開催未定となる。</p>	
報告者	植木美智子（グループホーム湯田あいおい苑）



宇部・山陽小野田 ブロック

活動報告

開催日時	令和4年8月 日程未定
会 場	ZOOM を使用してのオンライン学習会
研 修 名	意見交換会
目 的	事業所の色々な悩みを共有しアドバイスし合い、横の繋がりを強化する。
コロナウイルス感染拡大のため、開催中止	
報 告 者	小林幸恵(グループホームらくや)

開催日時	令和4年11月24日(木) 13時30分～15時30分
会 場	ZOOM を使用してのオンライン学習会
研 修 名	グループホームはるひ苑での実践報告
目 的	認知症になっても当たり前で生きるをサポートする、はるひ苑代表岡屋淳氏の実践報告。その方の今まで培ってきたスキルを生かし、働く場、活躍できる場を提供し、笑顔を蘇らせる。NHKでも取り上げられたグループホームはるひ苑での実践報告を学び、各々の事業所で何ができるかを考え、現場に活かすことを目的とする。
参加者	12事業所(うち、会員14名、非会員0名)
<p>防府・山口ブロックの開催の中に入れて頂く形での学習会となりました。はるひ苑岡屋さんの想いのあふれる実践報告を伺った後のグループワーク。参加された皆さんの想い、日々のケアと比較しての葛藤等、色々な意見を通しての意見交換がとても濃厚な学習会になったと思います。</p> <p>※防府・山口ブロック、宇部・山陽小野田ブロック合同の学習会となる。</p>	
報 告 者	小林幸恵(グループホームらくや)



下関・萩・長門

ブロック

活動報告

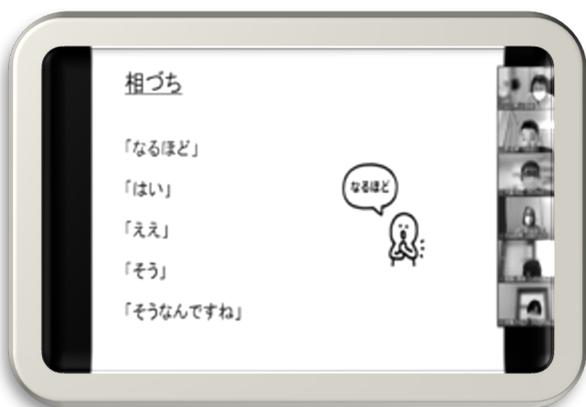
開催日時	令和4年8月5日(金) 13時30分～14時30分
開催方法	ZOOM を使用してのオンライン学習会
研修名	KUMON 学習療法について
講師	公文教育研究会 学習療法センター 小西 教雄氏
参加者	7名 (うち、会員7名、非会員0名)
	<p>くもん学習療法について、その効果性やエビデンス、実際にくもん学習療法を実施している様子までがわかりやすく説明して下さった内容でした。</p> <p>「簡単にスムーズに行えること」が脳の活性化には適しているという事実は、一般的に知られておらず、今後のご利用者支援において有意義なものとなります。認知症支援について、普段連携している医療従事者視点に、脳科学者視点からの認知症支援を加えることで支援の幅が広がり、可能性の広がりを感じる講演でした。</p>
報告者	江藤文彦 (アイユウの苑グループホーム)

開催日時	令和4年11月16日(水) 13時～16時
開催方法	ZOOM を使用してのオンライン開催
研修名	コーチング研修1「現場が変わる！信頼されるコミュニケーション」
講師	コーチ・オンリーワン 代表 上野 和禎氏
参加者	8名 (うち、会員8名、非会員0名)
	<p>リーダー (上司、指導者、先輩) としてのあり方、信頼関係を構築していくにあたって抑えておいた方がよいポイントも詳しく触れてくださり、コーチング型マネジメントについてわかりやすく説明をしてくださいました。エクササイズを多く取り入れてくださり、自分自身を振り返り、気づきの多い時間となりました。</p> <p>2回シリーズでの開催で、12月21日の2回目までの宿題もあり、次回までの受講者の取り組みによる成長が期待できる内容となっています。</p>
報告者	江藤文彦 (アイユウの苑グループホーム)

開催日時	令和4年12月21日(水) 13時～16時
開催方法	ZOOM を使用してのオンライン開催
研修名	コーチング研修2「現場が変わる！信頼されるコミュニケーション」
講師	コーチ・オンリーワン 代表 上野 和禎氏
参加者	8名（うち、会員8名、非会員0名）

前回（11月16日）の宿題の実施状況の報告を含め、リーダー（上司、指導者、先輩）としてのあり方、信頼関係を構築していくにあたって抑えておいた方がよいポイントに加え、具体的なスキルも取り扱った実践的な内容でした。エクササイズがたくさん盛り込まれ、体験することにより気づき生まれ、理解度が高まり、現場ですぐに活かすことができる内容でした。

定期的開催し、再受講の方であっても、原点に立ち返ることと新たな気づきを得る機会となり、ステップアップが期待できる内容です。



報告者	江藤文彦（アイユウの苑グループホーム）
-----	---------------------

貸借対照表

令和5年3月31日現在 決算)

法人名：一般社団法人 山口県宅老所・グループホーム協会

事業名：事業全体

単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	4,139,142	3,564,392	574,750
現預金	22,967	27,593	△ 4,626
普通預金	4,116,175	3,536,799	579,376
未収金	62,000	156,000	△ 94,000
仮払金	30,863	84,862	△ 53,999
流動資産合計	4,232,005	3,805,254	426,751
固定資産			
記念講演会準備積立金	30,000	30,000	0
災害積立金	30,000	30,000	0
固定資産合計	60,000	60,000	0
資産合計	4,292,005	3,865,254	426,751
II 負債の部			
流動負債			
未払金	82,084	662,000	△ 579,916
未前受り	0	0	0
預り金	0	0	0
流動負債合計	82,084	662,000	△ 579,916
負債合計	82,084	662,000	△ 579,916
III 正味財産の部			
一般正味財産	4,209,921	3,203,254	1,006,667
正味財産合計	4,209,921	3,203,254	1,006,667
負債及び正味財産合計	4,292,005	3,865,254	426,751

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日(決算)まで

法人名：一般社団法人 山口県宅老所グループホーム協会

事業名：事業全体

単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			0
受取会費	1,633,000	1,599,000	34,000
受取会費	1,633,000	1,599,000	34,000
事業収益	320,000	1,335,000	△ 1,015,000
研修事業収入	320,000	1,324,000	△ 1,004,000
学習会事業収入	0	11,000	△ 11,000
雑収益	1,236,958	38,281	1,198,677
受取利息	36	21	15
赤い羽根共同募金助成金	1,016,922	38,260	978,662
經常収益計	220,000		220,000
經常費用	3,189,958	2,972,281	217,677
業務費	70,440	308,736	△ 238,296
旅通費	0	0	0
通信運搬費	440	24,462	△ 24,022
消耗品費	0	0	0
刷製本費	0	0	0
印刷借料	0	0	0
諸租税公課	0	22,274	△ 22,274
支払手数料	70,000	262,000	△ 192,000
雑費	0	0	0
管理費	2,112,851	1,678,646	434,205
会議交通搬費	0	0	0
通信運搬費	155,968	109,317	46,651
消耗品費	16,715	1,395	15,320
印刷製本費	221,100	14,360	206,740
印刷借料	18,110	0	18,110
諸租税公課	69,049	52,244	16,805
支払手数料	21,000	22,000	△ 1,000
諸広告伝費	218,000	198,000	20,000
事務局費	30,000	0	30,000
局費	51,000	81,000	△ 30,000
雑費用計	1,200,000	1,200,000	0
經常費用計	111,909	330	111,579
經常増減額	2,183,291	1,987,382	195,909
評価損益等調整前当期經常増減額	1,006,667	984,899	21,768
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	1,006,667	984,899	21,768
經常外増減の部			
經常外収益計	0	0	0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,006,667	984,899	21,768
一般正味財産期首残高	3,203,254	2,218,355	984,899
一般正味財産期末残高	4,209,921	3,203,254	1,006,667
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,209,921	3,203,254	1,006,667

監査報告書

1. 監査事項

令和5年度 一般社団法人 山口県宅老所・グループホーム協会事業実施
状況及び決算

2. 監査報告結果

一般社団法人 山口県宅老所・グループホーム協会における令和4年度事業
報告及び決算について、令和5年5月23日監査を実施した結果、事業は適正
に実施され、決算においても、財産日録、貸借対照表及び正味財産増減計算書、
諸帳簿、証憑書類と対照し、正確に処理されていることを認めます。

令和5年5月23日

一般社団法人 山口県宅老所・グループホーム協会

会長 山本隆之 様

監事 村山孝志 

監事 高津文利 

監事 阿達輝征 

議案第2号 令和5年度事業計画(案)、予算(案)について

【提案理由】 令和5年度事業計画(案)、予算(案)について協議、承認を頂きたい。

1. 組織強化事業

(1) 組織の安定、活性化

- ・新規会員の加入促進、退会事業所0を目指す。
- ・本会の宣伝・広報、勧誘を行い、会員増強により組織の基盤強化を図る。

(2) 組織内の連携強化

- ・各部会・事務局間の連携強化
- ・各ブロックと地域部会の連携交流
- ・各ブロック及び事務局間の連携交流

(3) 事業活性化

- ・事業内容のオンライン化に関する準備及び運営
- ・会員相互の研鑽及び活動の相互協力を促す運営
- ・青年部、オンライン交流会、会員との意見交換の場としての活動
- ・事業の安定化を図る活動について
 - ※ 日本郵便年賀寄付金配分事業申請準備
 - ※ 赤い羽根共同募金の助成金申請準備、機関誌の発刊

2. 研修事業・相談事業

(1) 設立20周年記念講演会の開催

(2) 認知症介護基礎研修の開催

(3) 認知症介護実践者研修の開催

(4) 経営者、管理者、従業員の質の確保のための研修会

- ・計画作成担当者研修：年1回 内容未定
- ・経営者、管理者研修：R5年6月27日「グループホームBCPの策定と運用」

(5) 会員事業所の相談窓口事業の開始

(6) 各ブロックによる学習会

- ・岩国・柳井・光・下松・周南ブロック
- ・防府・山口ブロック
- ・宇部・山陽小野田・美祢ブロック
- ・下関・萩・長門ブロック

(7) 各種相談・質問に対する回答をホームページに掲載する

(8) グループホームの相談委員としての協力活動体制の整備

- ・運営推進会議構成員の相互協力、本会事業活動の応援事業所の呼びかけ

3. 広報・啓発事業（広報部）

- (1) 広報誌の発刊（2回）
- (2) ホームページ及び動画による情報発信
- (3) ホームページ改変作業の継続、SNSの更新、リーフレット改変作業
- (4) 「介護事業者社会福祉事業向け保険」と「集団取り扱い制度」の紹介
・会員契約件数の増加を目指す

4. 関係団体との連携に関する事業

- (1) 各種団体活動における後援、共催
- (2) 各種団体活動における会議出席(昨年度実績)
(山口県介護労働懇談会・山口県人材確保対策協議会・老人福祉施設研修作業部会・山口県介護保険関係団体連絡協議会・山口県福祉サービス第三者評価事業推進委員会等)

5. 高齢者福祉に関する提言及び陳情に関する事業

- (1) グループホーム運営に関する調査研究
- (2) グループホーム運営に関する要望・提言の集約と要望・提言書の提出

6. その他の事業（調査・研究部）

- (1) グループホームの運営に関する調査研究事業
・要望・提言の集約と要望・提言書の提出
- (2) 広域災害協定に関する調査・研究の継続
- (3) 新型コロナウイルスに関する影響調査の継続

令和5年度 ブロック活動計画

岩国・柳井ブロック・光・下松・周南ブロック活動計画

※今年度は2ブロック合同にて活動を計画する。

第1回

開催日時	令和5年9月（日程未定）
開催方法	現地開催（周南市を予定）
研修名	化粧療法の試み

第2回

開催日時	令和5年11月（日程未定）
開催方法	未定
研修名	未定

防府・山口ブロック活動計画

第1回

開催日時	令和5年9月（日程未定）
開催方法	未定（会場は感染状況により決定）
研修名	新型コロナウイルス感染について報告
報告者	徳佐あいおい苑 管理者 御旗 慎一郎 氏

第2回

開催日時	令和5年10月（日程未定）
開催方法	未定（会場は感染状況により決定）
研修名	外国人技能実習生制度を活用しての体験報告と意見交換
報告者	実習生受け入れ事業所

宇部・山陽小野田ブロック活動計画

第1回

開催日時	令和5年10月（日程未定）
開催方法	未定（会場は感染状況により決定）
研修名	介護施設のハラスメント規定と運用
講師	未定

下関・萩・長門ブロック活動計画

第1回

開催日時	令和5年8月29日(火) 13:30~16:00
開催方法	オンライン
研修名	グループホームはるひ苑での実践方向とグループワーク
講師	有限会社はるひ福祉サービス 代表取締役 岡屋 淳 氏

第2回

開催日時	令和5年11月17日(火) 13:30~16:00
会場	ルネッサながと
研修名	笑顔を引き出すレクリエーション
講師	グループホームしおさい 管理者 山田 真奈美 氏

令和5年度 収 支 予 算 書 (案)

一般財団法人山口県宅老所・グループホーム協会

1. 事業活動収入

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
会費収入	1,595,000	1,638,000	-43,000	令和5年度会費	
事業収入	2,720,000	1,520,000	1,200,000	80名	
	実践者研修事業	450,000	450,000	0	
	実践基礎研修	200,000	200,000	0	広報紙
	赤い羽根共同募金助成金	180,000	120,000	60,000	記念講演会 会員60名 非会員20名
繰越金収入	4,232,005	3,203,254	1,028,751		
収入計	9,377,005	7,131,254	2,245,751		

2. 事業活動支出

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考	
事業費支出	2,830,000	1,750,000	1,080,000		
	会議費	200,000	20,000	180,000	書類作成・打合会議他
	諸謝金	560,000	560,000	0	講師謝金
・実践者研修	旅費交通費	180,000	180,000	0	
・基礎研修	通信運搬費	60,000	60,000	0	郵送代他
	消耗品費	200,000	20,000	180,000	文具、研修備品他
	印刷製本費	550,000	400,000	150,000	研修資料、赤い羽根印刷
	賃借料	120,000	50,000	70,000	会場費・機器・空調
	会員研修補助	0	0	0	
	支払手数料	150,000	150,000	0	認知症介護研修センター
	研修管理費	50,000	50,000	0	
	記念講演会費用	500,000	0	500,000	諸謝金など費用全て
	赤い羽根共同募金冊子作成	230,000	230,000	0	
	雑費	30,000	30,000	0	
	小計	2,830,000	1,750,000	1,080,000	
管理費支出	2,533,000	2,533,000	0		
	支払報酬	198,000	198,000	0	税理士報酬決算込
	事務局費	1,200,000	1,200,000	0	
	会議費	30,000	30,000	0	総会、理事会お茶他
	旅費交通費	80,000	80,000	0	理事会交通費等
	通信運搬費	150,000	150,000	0	電話代他
	消耗品費	30,000	30,000	0	文具他
	印刷製本費	100,000	100,000	0	総会案内印刷他
	賃借料	30,000	30,000	0	総会、理事会会場費
	理事会等予備費	150,000	150,000	0	
	支払手数料	10,000	10,000	0	振込手数料
	部会活動費	100,000	100,000	0	各部会(青年部含む)
	プロック費	200,000	200,000	0	
	広告宣伝費1	80,000	80,000	0	HP、広告代
	広告宣伝費2	80,000	80,000	0	協賛金等
	交際費	10,000	10,000	0	
	租税公課	5,000	5,000	0	
	記念講演会準備積立金	30,000	30,000	0	
	災害積立金	30,000	30,000	0	
	雑費	20,000	20,000	0	
	小計	2,533,000	2,533,000	0	
その他の支出	21,000	21,000	0		
	法人税・住民税及び事業税	21,000	21,000	0	
予備費支出	50,000	50,000	0		
	予備費	50,000	50,000	0	
支出計	2,604,000	2,604,000	0		

【報告事項】

会則の一部変更（案）について

1 会則変更の内容

現行会則と変更会則の対照表

会則変更新旧対照表

改正前	改正後
<p>第6条（会費）</p> <p>協会会員は、以下の通りの年会費を納めることにする。</p> <p>① 正会員：団体 20,000円</p> <p>（1ユニットのみ開設の事業所は10,000円とする）</p> <p>（小規模多機能居宅介護事業所は10,000円とする）</p> <p>② 個人会員：</p> <p>② 賛助会員：個人 2,000円（1口）</p> <p>③ <u>賛助会員：団体3,000円（1口）</u></p>	<p>第6条（会費）</p> <p>協会会員は、以下の通りの年会費を納めることにする。</p> <p>① 正会員：団体 20,000円</p> <p>（1ユニットのみ開設の事業所は10,000円とする）</p> <p>（小規模多機能居宅介護事業所は10,000円とする）</p> <p>② 個人会員：</p> <p>② 賛助会員：個人 2,000円（1口）</p> <p>③ <u>賛助会員：団体10,000円（1口）</u></p>

2 会則変更の理由及び効力発生日

（1）会則変更の理由

改正前の賛助会員の目的は会則第5条に示される通り「当法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体」と定められているが、従来 of 会則であると賛助会員が受けることのできる恩恵について不明瞭な点があり、はっきりとした恩恵の区別化の材料がない状態であった。

賛助会員の会費を変更することによって口数に応じた賛助会員の受けることのできる恩恵の明瞭化を図り、本会と賛助会員相互に連携を強化することを目的とし改正を行った。

またこれによって本会の運営の財政強化と事業内容の安定を図りたい。

（2）会則変更の日程

会則変更のための理事会開催日：令和5年6月13日

会則変更の効力発生日：令和5年6月14日

令和5年 山口県宅老所・グループホーム協会役員名簿

役職	氏名	所 属	地 域 部 会	備考
理 事	山本 隆之	グループホームみかん畑	岩国・柳井	
理 事	小川 泰志	グループホーム喜楽苑	宇部・山陽小野田	
理 事	安藤 明子	グループホームゆうなぎ	下関・萩・長門	
理 事	古城 琢也		山口・防府	
理 事	長弘 亮二	グループホームのんた	光・下松・周南	
理 事	中西 恭子	白鳩老人グループホーム	光・下松・周南	
理 事	植木 美智子	グループホーム徳地あいおい苑	山口・防府	
理 事	小林 幸恵	グループホームらくや	宇部・山陽小野田	
理 事	森田 磨砂	グループホームなごみ	下関・萩・長門	
理 事	江藤 文彦	アイユウの苑グループホーム	下関・萩・長門	
理 事	宮内 一弥	グループホーム万年青	光・下松・周南	
理 事	岡屋 淳	グループホームはるひ苑	山口・防府	
監 事	村山 孝志	村山たかし社会福祉士事務所		
監 事	高津 丈利	社会福祉法人 緑山会		
監 事	阿達 輝征	医療法人 樹一会 山口病院		

※ 退 任 理 事 嶋田 新一 24時間宅老所新田の楽さん家 山口・防府